



## <教育目標>

「質実剛健」の気風を継承し、校訓「正しく、強く、明るく」を基に、「文武両道」を目指し、地域社会や国際社会に貢献できる、調和のとれた創造的な人間を育成する。



## 個々の能力を最大限に伸ばし、仲間と共に成長できる学校

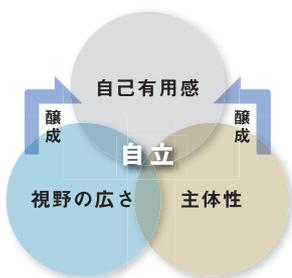
アドミッションポリシー ～このような生徒を待っています～

**普通科** 何事にも粘り強く取り組もうとする生徒

**科学探究科** 理科や数学に関心をもって自ら進んで学ぼうとする生徒

### 市高で育む 3つの資質・能力

生徒一人ひとりの自立に向かって、未来起点の思考と日常の凡事の徹底により、高校生活(学習、部活動、学校行事等)を通して、3つの資質・能力(自己有用感、視野の広さ、主体性)を育んでいます。



確かな学力



高校生活を彩る学校行事



特色あふれる探究活動



部活動の活躍

### ISEPの研究開発への取り組み

「市高科学教育プログラム(Ichiko Science Education Program 通称ISEP)の開発」～科学的リテラシーをもって解決困難な課題に立ち向かうことができる人材の育成～を目標に掲げて研究開発を進めています。第Ⅰ期(平成25～29年度)は科学探究科を対象に、第Ⅱ期(平成30～令和4年度)からは対象を普通科にも広げ、学校全体でSSH\*に取り組みました。更に、第Ⅲ期(令和6～10年度)SSH指定校になりました。

ISEPについての詳細は別紙、「静岡市立高校SSH通信Serendipity」をご覧ください



文部科学省指定事業

**SSH**  
Super Science High School

※スーパーサイエンスハイスクール(SSH)とは  
高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進します。また創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施します。

## 進路指導

高校生活は自分の夢や目標を探し、その実現に必要な人間力を身に付けるための時間。市高にはそのための環境が整っています。

### 課外授業



### 朝課外

特進クラスは全員に、一般クラスと科学探究科も希望者に対して実施しています。

### 放課後課外

3年生対象に行っています。生徒の進路目標やニーズに対応し、基礎からアドバンスト(ハイレベル)まで、多様な課外を実施しています。

### 通学学習会

1・2年生は通学学習会を、夏休みに行っています。対象は特進クラス全員と一般クラス・科学探究科の希望者です。どちらも一日10時間の学習に挑みます。

### 進路探究



### 出張授業

全国の国公立大学を中心に、様々な分野の先生方が、高校生向けにアレンジした模擬授業を行います。年間8～10回実施しています。

### 学部学科説明会

秋に1・2年生全員を対象に実施しています。全部で20の学問分野の先生方を一斉に招いて行います。生徒は事前に希望した2つの講座に参加します。

### 進路講演会

生徒の進路意識を高めるため、最新の入試動向の紹介や、進路実現に向けてのポイントを聴くことができます。

### 個に応じた細かい指導



### 面接・小論文等指導

近年の大学入試で課されることが多くなった面接や小論文に対応するため、希望生徒に対して担当の教員が一人ずつついて指導します。毎年100名以上の生徒が利用しています。

### 自習室

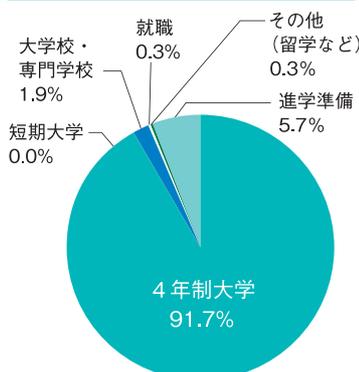
校内に用意した複数の自習室を使い、夜7時まで自習を行うことができます。3年生を中心に多くの生徒が利用し、個々のペースで学習に励んでいます。質問があれば教員に聞きに行くことも可能です。

### 進路面談

進路に関する面談を定期的に行います。夏休みには三者面談も実施し、生徒・保護者・学校間で情報を共有し、方向性を定めていきます。

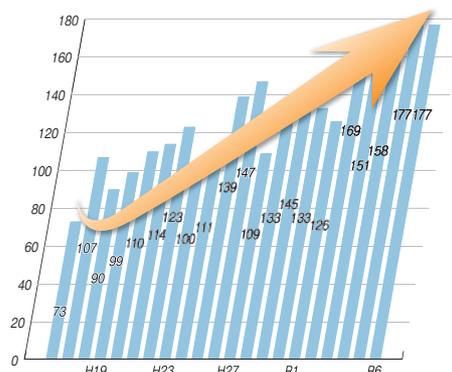
## 進路実績 [令和6年度]

### 進学先概況 (卒業生 314名)



4年制大学への  
進学率 **91.7%**

### 国公立大学合格者数の推移



国公立大学  
延べ合格者数 **177名**

### 主な合格大学

#### 国公立大学

長崎大医学部医学科、宮崎大医学部医学科、東北大、名古屋大、東京科学大、九州大、千葉大、横浜国立大、金沢大、広島大、電気通信大、東京都立大、京都府立大、横浜市立大、名古屋市立大(薬含む)、静岡大、静岡県立大、静岡文化芸術大、浜松医科大

など、多数合格

#### 私立大学

東京理科大、明治大、青山学院大、立教大、中央大、法政大、同志社大、立命館大、関西大、関西学院大

など、多数合格

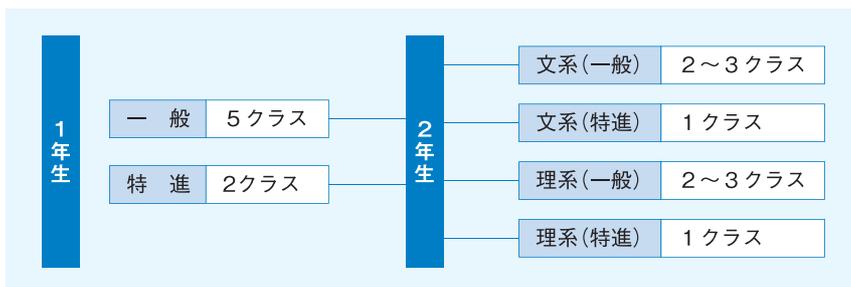
# 普通科



## 地域・国際社会に貢献し、調和のとれた創造的な人間を育成

### 個性や適性を伸ばす 教育体制

担任による手厚い面談や家庭学習時間の把握、文武両道の実現を支える部活動顧問、探究活動を支えるゼミ担当教員など、多くの教員が多角的な視点から生徒の個性や適性を見つけ伸ばします。



#### Point 01

### 文理選択式のコース制

1年次は全員が共通の科目を履修します。2年次から、それぞれの進路希望や得意教科に応じて、文系・理系コースに分かれます。個々の進路希望を叶えるうえでも大切な選択になります。

#### Point 02

### より高い目標を持った 生徒の集まる特進クラス

クラス全員が国公立大学進学を目指します。手厚い課外(朝課外、通学学習会、放課後課外)を通して、学力を向上させます。1年次の特進クラスは入学時の希望に応じて編成しますが、2年次からは、進路希望に応じて、クラス編成が行われます。

#### Point 03

### 私の「知りたい」を探究

興味・関心がある対象の、表層ではなく深層へ。探究で自分の興味・関心に深く潜っていくことは自分の中に深く潜っていくこと。探究活動を通して本当の自分を発見します。

## 教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33		
1年生	現代の国語	言語文化	歴史総合	地理総合	数学 I II A				物理基礎	化学基礎	芸術 I	英語コミュニケーション I	論理・表現 I	体育	保健	情報 I	SS探究 I																		
2年生	文系	論理国語	古典探究	文学国語	日本史探究 世界史探究		公共	数学 II B C			生物基礎	英語コミュニケーション II	論理・表現 II	体育	保健	家庭基礎	SS探究 II																		
	理系	論理国語	古典探究	地理探究	公共	数学 II B III C			化学	生物基礎	物理	英語コミュニケーション II	論理・表現 II	体育	保健	家庭基礎	SS探究 II																		
3年生	文系	論理国語	古典研究	文学国語	日本史探究 世界史探究		政治経済	数学 I A II B C 演習			生基演習	化基演習	英語コミュニケーション III	論理・表現 II 演習	体育		SS探究 III																		
	理系	論理国語	古典探究	地理探究	数学 III C	数学 I A II B III C 演習			化学	物理	生物	英語コミュニケーション III	論理・表現 II 演習	体育		SS探究 III																			

※SS探究IIIは選択者が履修します

#### Student's voice



3年生・横山菜々香さん  
(富士市立吉原第三中学校)

私は女子テニス部に所属しています。私がこの学校を選んだ理由は文武両道を叶えられると思ったからです。実際に入学してみると部活動と勉強の両立はとても大変なことでした。しかし、限られた時間の中で一生懸命に自分のやりたいことに没頭できるこの環境が私の成長に繋がっています。先生方に恵まれ、仲間と共に切磋琢磨できるこれらの日々は、これからの私が何事にも頑張ることができる原動力になると確信しています。

#### Student's voice



3年生・石井結月さん  
(高松中学校)

「迷ったらときめく方へ」を合言葉に様々な活動に取り組んできました。探究では、ゴールが曖昧で悩むこともありましたが、多くの方々との出会いの中で生まれたふとしたときめきが新たな道を示してくれました。興味関心が形になっていくことは、学びが「自分ごと」となる瞬間であり、その経験は私に確かな自信を与えてくれました。探究や勉強、部活動に誠心誠意向き合った日々は、これからの人生の支えになると確信しています。(写真 韓国への文化交流)

# 科学探究科

## 科学的・数学的に探究・表現する能力と態度を育成

### 育てたい3つの力

#### 主体的に生きる力

自ら考え、判断し、  
行動する力

#### 科学を探究する力

自ら課題を設定し、  
科学的手法を用いて解決する力

#### コミュニケーション能力

論理的に思考・判断・表現する力、  
英語力

#### Point 01

### 英語、数学、理科では 少人数授業を実施

1クラスを2集団に分け、生徒1人ひとりであった手厚い授業を展開します。生徒と生徒、生徒と教員、意見の交わり合いを重ねながら、探究活動の基本となる教科理解を深めています。

#### Point 02

### 知識や技能を活用する 場面を多く設定

現在の学習指導要領は、「知識や技能の習得」だけでなく、その「活用」を重視しています。科学探究科の各プログラムは、授業で習得した知識や技能を活用する絶好の機会です。物事を掘り下げ、多角的に考察する姿勢が自然と身に付いていきます。

#### Point 03

### 「課題研究」と「海外科学研修」を 軸にプログラムを展開

すべての取組の中心に「課題研究」と「海外科学研修」を据えて各プログラムを実施します。各プログラムは相互に関連付けられており、実験や研修を振り返り、その意義について考える良い機会になります。

## 教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34		
1年生	現代の国語	言語文化	歴史総合	公共	理数数学ⅠⅡ				理数化学	理数物理	芸術Ⅰ	SEECⅠ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	体育	保健	情報Ⅰ	CDⅠ	探究プログラムⅠ																	
2年生	論理国語	古典探究	地理総合	理数数学Ⅱ 理数数学特論				理数化学	理数物理	理数生物	SEECⅡ	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	体育	保健	家庭基礎	CDⅡ	探究プログラムⅡ																		
3年生	論理国語	古典探究	地理探究	理数数学Ⅱ 理数数学ⅠⅡ特論演習				理数化学演習	理数物理演習 理数生物演習		SEECⅢ	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現ⅡⅡ演習	体育	探究プログラムⅢ																					

※探究プログラムⅢは選択者が履修します

科探科だから  
経験できる  
特徴的な授業



探究プログラムⅠ・Ⅱ・Ⅲ



Career Design プログラムⅠ・Ⅱ



Science English CommunicationⅠ・Ⅱ・Ⅲ

#### Student's voice



3年生・野崎裕生さん  
(観山中)

私は中学生の頃から理科が好きだったので、科学探究科に入学しました。科学探究科には「探究プログラム」があります。「探究プログラム」では中学校の理科の実験とは異なり、最初から用意された実験方法や結果の分かっている実験はありません。担当の先生と自分たちで相談し実験方法を考えて実施し、結果から考察する、それを繰り返しました。私は課題研究のこういった自立した活動に魅力を感じます。また、CDプログラムでは研究機関を訪問して研究者の方々から直接お話をうかがう機会がありました。研究に取り組んでいる方々の話を実際に聞いてみると様々な分野に興味が湧きました。このように、科学探究科の活動は科学のことを詳しく学べるのはもちろん、勉強面以外の貴重な経験をたくさんすることができます。

# 部活動

市高生は「文武両道」。生徒全員が部活動に所属しています。

活動を通して特技を磨き、責任感と忍耐力を身に付け、仲間たちとの深い友情を育みます。

## 運動部

- ▶ 陸上競技部
- ▶ 野球部
- ▶ 水泳部
- ▶ 卓球部
- ▶ 体操部
- ▶ 剣道部
- ▶ 弓道部
- ▶ サッカー部
- ▶ テニス部 (男・女)
- ▶ ソフトテニス部 (男・女)
- ▶ バレーボール部 (男・女)
- ▶ バスケットボール部 (男・女)
- ▶ バドミントン部

## 文化部

- ▶ 吹奏楽部
- ▶ 放送部
- ▶ 応援部
- ▶ 写真部
- ▶ マンドリン部
- ▶ 美術部
- ▶ 演劇部
- ▶ 茶道部
- ▶ 料理研究部
- ▶ デジタル研究部
- ▶ 科学部
- ▶ 書道部
- ▶ 囲碁将棋同好会

## 部活動実績

### 令和6年度

#### 全国大会

テニス (男)	
テニス (女)	高校総体団体、個人シングルス、ダブルス出場 全日本ジュニアシングルス出場 全国選抜テニス大会ベスト16
陸上競技	女子100m: 7位 女子走高跳: 出場 女子4×100mR: 準決勝進出 女子4×400mR: 準決勝進出
体操 (女)	高校総体個人総合出場
水泳	高校総体女子200mバタフライ出場
ソフトテニス (男)	
ソフトテニス (女)	
剣道 (男)	
マンドリン	全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール優秀賞
吹奏楽	ジュニア打楽器アンサンブルコンクール全国大会

#### 東海大会

東海高校総体個人シングルスベスト16
東海高校総体団体2位、個人ダブルス3位、シングルス出場 東海選抜テニス大会 団体 優勝
東海新人大会 男子100m、走高跳、4×400リレー 女子走り高跳び、4×100mリレー、4×400mリレー
東海高校総体女子団体
東海高校総体 ・男子 女子400mメドレーリレー ・女子200mバタフライ3位 ・男子 女子200m自由形 ・女子200m平泳ぎ ・男子 女子400mフリーリレー ・女子100m平泳ぎ ・女子100mバタフライ ・男子 女子100m自由形 東海選手権 女子100m、200mバタフライ
東海高校総体団体、個人出場
東海高校総体団体、個人出場
東海選抜剣道大会出場
東海選抜高等学校ギター・マンドリンフェスティバル優良賞
中部日本個人重奏コンテスト本大会クラリネット5重奏銀賞

### 過去3年間

#### 県大会出場

ソフトテニス (男・女)
体操 (男・女)
剣道 (男・女)
バレーボール (男・女)
バスケットボール (男・女)
サッカー
卓球 (男・女)
弓道 (男・女)
陸上競技 (男・女)
水泳 (男・女)
テニス (男・女)
バドミントン (男・女)
吹奏楽
放送

## 年間行事

4 Apr.



・入学式  
・対面式

5 May



・遠足

6 Jun.



・市高祭 (文化祭)

7 Jul.



・野球応援

8 Aug.



・海外語学研修  
・通学学習会

9 Sep.



・生徒会長選挙

尾形空 (服織中)



松葉想空 (清水第三中)



田代紗月 (大里中)



永野美咲 (美和中)



大谷紀乃 (長田西中)





・ 体育大会  
 松本実愛 (静岡大成中)  
 野原美伶 (東豊田中)

・ 修学旅行  
 ・ 海外科学研修

・ マラソン大会  
 ・ 百人一首大会  
 塩原啓佑 (清水第七中)  
 千葉有介 (清水第二中)

・ スポーツ大会  
 ・ 卒業式  
 長島漢真 (西奈中)

# 卒業生が語る市高

# Talk about Ichiko

はばたいていった先輩たちに市高で学んだ経験を振り返ってもらいました。



平成24年度 卒業生(博士:農学)

増井 昇 さん

静岡県立大学 助教

## 「文武両道」で広がった未来

高校時代、私は男子バスケットボール部に所属していました。ほぼ毎日の練習や試合に没頭し、顧問の先生の熱心なご指導のもと、自分たちの代で最高の成績を取ることができました。一方で、市高には勉強に集中できる環境も整っていました。朝課外の他、放課後は教室や図書館を活用して、自主的に学習に励むことができます。私は塾には通わず学校で勉強を続け、先生方の手厚いサポートもあり、現役で北海道大学に合格することができました。「文武両道」の維持は簡単ではありませんが、むしろ部活動があったからこそ、気持ちにメリハリがついて勉強にも集中できました。その後、大学院まで研究を続け、民間企業の研究職として日本やアメリカで働く機会にも恵まれました。現在は、大学教員として教育・研究に携わっています。

いまの自分があるのは、市高で過ごした3年間のおかげです。私の代にはなかった科学探究科も新設され、市高での学びはますます可能性にあふれています。部活動も、勉強も頑張りたい人にとって、市高は最高の舞台になると思います。



平成25年度 卒業生

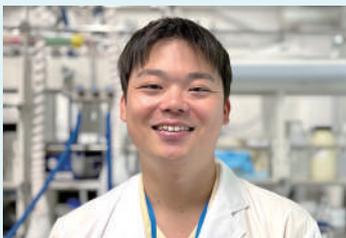
石間 若奈 さん

地方独立行政法人 静岡市立静岡病院 看護師

## 市高で培ったもの

市高で過ごした3年間は、勉強と部活動の両立に取り組みながら、市高祭や体育大会、ナイトウォークなどの学校行事にも心から楽しむことができ、とても充実した時間でした。ソフトテニス部では辛い練習から逃げ出したいこともありました。仲間と励まし合い引退までやりきったことは私の大きな自信になりました。また、進路に悩んだ時は、担任や部活動の先生方がいつも真摯に向き合ってくれました。特に大学受験前の面接・小論文指導は毎日マンツーマンで指導していただき、自信をもって受験に臨むことが

できました。勉強と部活動の両立に取り組んだ高校生活は、自分を強くさせてくれたと感じています。今私は看護師として働いており、患者さんの心に寄り添えるように日々努めています。患者さんが元気に退院していく姿は、何度見てもやりがいを感じる瞬間です。現在は仕事と育児の両立に日々奮闘していますが、高校時代に培われた時間管理の大切さやどちらにも真摯に向き合う姿勢が今の私の土台となっています。みなさんも市高という素晴らしい環境の中で、たくさん経験を積み、自分らしい強みを育ててください。



平成26年度 卒業生(科学探究科2期生)

稲垣 伸 さん

国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター バイオプラスチック研究チーム 特別研究員

## 研究人生の出発点

科学探究科では、普段触れることのない多様な学問に出会い、科学の面白さや奥深さを実感する貴重な機会を得ました。なかでも、プラスチックをつくる実験に感銘を受け、この分野をもっと深く学びたいと強く感じたことを覚えています。この経験が、私の研究人生の出発点となりました。

その後、プラスチックを学べる大学に進学し、大学院博士課程まで進みました。そして、現在は環境に配慮したプラスチックの開発に取り組んでいます。これまで一貫してプラスチックの研究を続け

てこられたのは、科学探究科での学びを通して「自分の心を動かすもの」を見つけられたからです。探究を深めるには、まず自分の関心を知ることが欠かせません。私にとって、その気づきの場が科学探究科でした。

市高での3年間は、自分の中にあった興味や可能性に気づき、少しずつそれを形にしていく、とても有意義な時間でした。その経験が、今も私の歩みを支えています。



## 静岡市立高等学校

〒420-0803 静岡市葵区千代田三丁目1-1

TEL:054-245-0417 FAX:054-248-1190

URL: <https://shizuokacity-h.edumap.jp/> E-mail: [ichiko@shizuokacity-h.ed.jp](mailto:ichiko@shizuokacity-h.ed.jp)

学校までのアクセス方法

自転車 東静岡駅から約15分 ※9割以上の生徒が自転車通学です。

バス 静岡・新静岡駅より約10分 唐瀬車庫行(三松経由) → 市立高校前下車



SHIZUOKA OFFICIAL Instagram

